

ドキュメンタリー「県民投票」上映会のお知らせ

2020年1月から4月にかけて、いばらき原発県民投票の会が全県的に署名活動を行ないました。1978年に営業運転を開始してから40年を過ぎた東海第二原子力発電所の再稼働を認めるか否かを住民投票で決めるべきと主張し、そのための条例制定を求めるものでした。

署名活動中に新型コロナウイルスの感染が拡大し始めた緊迫した状況にもかかわらず、県内全域で法定必要数を大幅に上回る86,703筆（下妻市では1,513筆）の署名を集め、直接請求を行ないました。しかし6月24日、いばらき自民党が大勢を占める県議会で条例案は否決されてしまいました。

その「県民投票」のドキュメンタリーを茨城出身の大場丈夫監督が映画化し、今年のぴあフィルムフェスティバルに入選しました。ひとりひとりが政治について考える重要さを問いかけています。

今回下記のように上映会を企画しました。ふるってご参加ください。

記

ドキュメンタリー「県民投票」上映会

日 時	12月11日(土) 午前10時～11時40分
場 所	下妻市桐ヶ瀬38 本橋産業内 桐ヶ瀬美術館
定 員	25名
入場料	無料
主 催	希望の会（原発県民投票の会下妻受任者の会）
申込先	本橋隆一（080-3451-5347）